

# 第78回しずない農業協同組合通常総会

## 全5議案原案通り可決される



4月3日、新ひだか町公民館にて「第78回しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。

冒頭挨拶に於いて、西村会長理事より「第78回しずない農業協同組合通常総会の開催にあたり、ご出席頂きました組合員・准組合員の皆様に対しまして厚くお礼を申し上げます。

また、お忙しい中、ご臨席を賜りました中央会平野支所長を始め、ご来賓各位に対しまして心から感謝を申し上げますとともに、日頃のご支援ご協力に対しまして厚くお礼申し上げる次第であります。

さて、昨年の農業を取り巻く環境は、世界各地での地域紛争は収まる気配がなく新たな紛争も起きる事態となっており、トランプ政権での関税問題や中国との関係悪化など引き続き円安基調の継続の為、生産資材の高騰に加え、慢性的な人手不足と相変わらず農業経営に大きな影響を与えております。また、昨年は米騒動という名の元に日本の主食の生産と農業の在り方に目を向けられた年でもありました。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院選挙に於いて多くの組合員の皆様のご支援を頂き、全国農政連が推薦した、北海道選出の東野ひでき氏が見事当選し国政に送り出す事ができました。改めてお礼申し上げます。北海道の現役農業者として国政に送り出す事に今後の活躍を期待している所です。

当JAの7年度農畜産物状況は一年を通して大きな災害も無く、戦略作物のミニトマトは暑熱対策や作型を変えるなどし、収穫量は横ばいでしたが、単価が一昨年よりさらに良く46戸の農家で9億6,100万円となり、そ菜全体(59戸)では10億3,500万円となりました。また、本年も一組の新規就農者の参入が予定されております。

黒毛和牛は生産戸数21戸販売頭数714頭で販売額は4億9,500万円と令和4年より続いている価格の低迷が頭数の不足感や輸出の強化などにより回復傾向にあり、今後は更に優良な血統とDGの質を上げて行く事と家畜伝染病に対応する生産活動を確立していかなければならないと思えます。

酪農は乳価がここ数年安定してお

り、ほぼ計画通りで推移しており、生産戸数10戸で3億5,100万円の販売額となっております。農家戸数の減少が続いており、当JAでは牧野事業やヘルパー事業などを有効に活用し若手後継者もいる中で、日高乳業という環境も含めて今後の酪農業の在り方を考えていかなければならないと思っております。

稲作は作況101のやや良でありました。7年度も高品質のお米を収穫する事ができ、又、一昨年より続いている消費騒動の為、高い価格での取引で推移しており、特に納品関係でも新規取引も含め順調な売れ行きを維持し、75haで販売額1億6,400万円と計画を大きく上回りました。特別栽培米「万馬券」も高い評価の中で、昨年は5月中に売り切れるという事で、ブランド米としての産地の確立が見られます。また、万馬券も販売開始から30周年を迎える記念の年となり、消費者に愛され食される様、応援をしていきたいと思えます。

今年度も軽種馬は、各市場に於いて前年を上回り、444頭で販売額が税込み74億3,000万円となり、一昨年より販売額が2億4,0